

分科会評価結果

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、労働等により保護者が昼間家庭にいない小学校及び義務教育学校に就学している児童を対象に、家庭、地域等との連携の下、適切な遊びと生活の場を提供し、当該児童の健全な育成を図ることを目的としている。

本市では、少子化の影響により小学校に通う総児童数は減少しているものの、近年の女性就業率の上昇等により、放課後児童クラブの利用児童数は増加傾向にあることから、本事業の必要性は高いと考えられる。

しかしながら、運営委員や指導員については、高齢化や後継者不足が懸念されていることに加え、増加している特別な配慮を要する児童への対応など課題があることから、今まで以上に指導員に対する処遇改善と人材確保に取り組むよう求め、拡充とした。